

やつおもて

第5号 (2014年10月)

編集発行：和田公民館

協力：公民館運営推進委員

電話：(45-1918)

eメール:wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区 いろいろ見て歩く記～

ゆうや～け



こやけ～の



あかと～んぼ



みなさん、こんにちは。つぬで～す。いかがお過ごしですか？心配していた長雨も上がり、秋らしいお天気になりました。稲刈りでお忙しい方も多いことでしょう。朝夕は冷え込むこともありますので、みなさん体調に気を付けて下さいね。

和田地区の歴史コーナー

今回は前回の小才遺跡1号墳の続きを、ふるさと歴史公園にある資料から紹介しましょう。

《小才遺跡》

◆2号墳◆

丘陵の斜面にあり、古墳の形や大きさについてはわかりません。急斜面のため流失してしまったようです。

埋葬するための施設は1号墳と同じタイプの横穴式石室ですが、大きさは奥行き3.3m、幅1m、高さ1.2mあまりの小規模なものです。

内部には木の棺をのせるための大と思われる小石が4個置かれていました。そしてこの小石から入り口にかけて須恵器（すえき）と呼ばれる素焼きの土器が7個出土しました。

土器には宝珠形のつまみを付けた蓋が4個、台を付けた椀が3個あります。これらの土器の特徴などからこの古墳は7世紀ごろにつくられたものと考えられます。

◆9号墳◆

2号墳の南東側にある墳墓で、地面をほぼ水平に整えた後、穴を掘り込んで埋葬したものです。穴の大きさは長さ3.5m、幅1m、深さ1mあまりのもので、谷側（小口部）は壁が半分しかないのが特徴です。内部には4個の小石が配置されていることから、木棺を納めたものと思われませんが、釘が見つからないことから断定はできません。穴の中には素焼きの小壺が1個置かれていました。このような構造をもった墳墓は県内では例がないため良くわかりませんが、横穴式石室を簡略化して石を使用しなかったものかもしれません。埋葬された時期は土器の特徴から2号墳より少し後ぐらいと思われるます。



手をつなぎ 感じてみてよ 温もりを

続いては和田地区に伝わる伝説のコーナーです。

遊女淵（傾城淵）

—防六をあおぎてより—

「遊女淵」という淵が、木田と本郷の境にあります。江戸時代、年季の明けない一人の遊女（キヨ）が上方（大阪）から逃げて、本郷の淵に身を投げた。なぜ?? 愛しい男が重富にいたからです。その男というのが、天津谷の天津屋に養子に入った「惣兵衛」という男。天津屋は商いをしていて「惣兵衛」はよく上方へ仕事に出かけていた。その時この遊女と馴染みになり、逢瀬を重ねるほどに「キヨ」は「惣兵衛」を一途に想い、一時も離れていることが出来なくなりました。そして「いつかこの男の故郷へ行きたい」と思うようになった。そうすると徐々に「惣兵衛」は「キヨ」の情の深さに恐れをなし距離を置くようになっていった。



その女がこの淵で死んだ。……「惣兵衛」はあの時「自分は長屋の橋の近くの者だ」と嘘を言っておいたのだ。（長屋は現在の今福のこと）女は、ボロボロになって芸州、三坂峠そして戸川から「魔の道」を登り、本郷の里で改めて「長屋はどこですか?」と聞く。まだ「5里先」だと聞いて、長い旅路の果て、体を支える気力も失くし倒れこんだ。目の前にこの淵…。女は淵を臨む岩の上に草履をそろえ、「惣兵衛」に買ってもらった琥珀色のこうがい（鬘を形作る装飾的な結髪用具）を抱いて淵に身を投げたと言うことです。

本郷と木田の境にある、通称岡谷のこの淵を今は「傾城淵（けいせいふち）」と言います。傾城とは遊女、女郎の意味です。（文・絵 佐々岡健次）

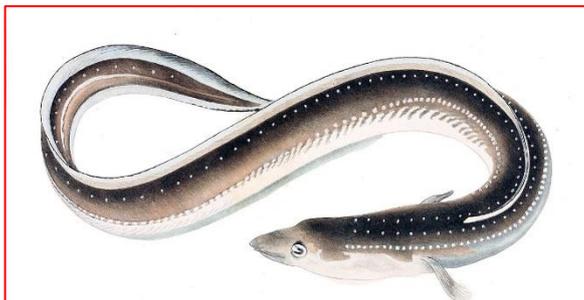


遊女であっても、恋しい人を一途に慕って命がけて旅をしたキヨさん。

キヨさんが亡くなって惣兵衛さんは一体どんな気持ちだったのかしら?

今回は、うなぎ漁について話してみよう。

八戸ダムが建設されるまでは沢山のうなぎが上っていたようである。小さな溝でも年中水が流れていれば大きい物が釣れていたが、現在では補殖費の一部を充て毎年



にほんうなぎ

50kg、尾数にして1千尾前後の量を放流している。しかし、最近では稚魚の不足からその数も減らさざるを得ない状況である。市販されている蒲焼うなぎは100g~200g位の物で、八戸川で捕れているうなぎは小さい物で150g、大きい物では2kg位の物まで捕れている。長さは1mを超える物や胴体の太さはビール中瓶位の物までいる。

うなぎの種類は、八戸川で昔から呼ばれている「ガニ食いうなぎ」「口細うなぎ」の2種類がいる。「ガニ食いうなぎ」は頭と口が大きくて長いのが特長。「口細うなぎ」は頭は小さく口は細長く胴体は太いのが特長。姿が美しく上品で人気があるが、残念ながら数は少ない。

うなぎ漁には、さお釣り、つけばり、網づけ、籠づけ、やなづりなどさまざまな漁法があるが、やな釣り漁以外は夜行う漁法で夕方仕掛けて朝早く上げに行くのが特長である。つけばり漁は、専用の針にミミズ、小魚、どじょう、鮎などの切り身を刺し、糸の長さは個人差はあるが、少し長めの方がどんな場にも適用できる。うなぎの通り道や、潜んで降りそうな石を見極めるのがコツで、その石に糸を結びつけて沈めておく方法で一番多く行われている漁法である。

網づけ漁は、川幅の広い流域で行われ、川幅にあった長い網につけばりと同じ仕掛けを取り付ける方法であるが現在はあまり使われていない。籠づけ漁は、カニ籠からヒントを得て竹で細長く作り、入ったら出られなくなっているのが特長。餌は生きた鮎またはハエなどが良いが、生きた餌の使用は困難なことが多い。

昼間行うやなづり漁は、専用の針があり糸は長くして竹の穂先に挿し、餌はミミズが一番良い。これもうなぎのいる石を見極めるのが大事で、うなぎが餌に噛み付いた時の感触は何ともいえず、うなぎ釣りでは一番醍醐味のある漁法だと思う。いずれの漁法も、朝早く行かなくてはならない漁で、こまめに動く人でないと不向きな様である。(文・榎本泰弘)



さわがに



～いただきました～

旭和田郵便局からサッカーボールをいただきました。
このボールは、2014 FIFAワールドカップブラジル大会公式試合球のレプリカ
となっています。みんなで遊んで、ワールドカップの気分を楽しみましょう！





館長の今月の故事・ことわざ

いい がち こうみょう 言い勝ち功名

を説得し、結局は支持されるようになるということ。つまり、黙っていてもどんなに良い意見を持っていても宝の持ち腐れだということ。

多少筋の通らない発言でも、
どんどんしゃべる人の意見が周り



つねのみんなでチャレンジコーナー 神楽面づくり①

前岡 勉さんを講師に神楽面
づくりにチャレンジ!! その様
子を簡単にご紹介します。

型抜き 粘土を詰めて
型を取る



型を抜いた物



水張り 取った型に和紙を
水張りする



和紙張り 細かな部分はへ
(2回) らで丁寧に張る



型割り よく乾いたら
粘土を壊す



胡粉塗り 胡粉を塗ると
(2回) お面らしくなる



あ と が き

長雨が続き、このまま秋が終わってしまうのかと心配をしていましたが、最近はずっかり秋らしいお天気となり喜んでます。田んぼも黄金色に変わり稲刈りが進んでいるようです。今は機械化が進み稲はぜは少なくなりましたが、子供の頃稲刈りの手伝いをすると稲穂の香ばしいような独特の香りがしていたことを思い出します。青い空と稲はぜと稲の香りが私の秋の原風景です。皆さんの原風景はどんな景色でしょうか？聞かせてくださいね！